

まんがで読む 情報倫理の違反事例集

1. 概要

Facebook や Twitter など、ソーシャルコンピューティングは広く社会に浸透し、多くの高等教育機関の教育現場でも利活用されるようになってきた。しかし、コミュニケーションツールとして非常に便利な反面、不用意な投稿がインターネット上だけではなく、実社会においても問題を引き起こすケースが発生している。

このような状況を鑑み、本センターでは学生がソーシャルコンピューティングを安全に利用するために違反事例集を作成し、インターネットで公開（学内者限定）して、啓発活動を行った。

違反事例集の内容は学生部と共同で確認精査し、学生からの興味をひくよう、身近なキャンパスライフを舞台とした全 12 話を漫画で作成した。ソーシャルコンピューティングの利用を中心に、個人情報の取扱いに関する内容も掲載した。

[全 12 話のタイトル]

Intro 高いモラルと正しい情報知識があなたを守る

Case-01 Twitter で犯罪行為を告白

Case-02 いたずら行為を SNS に投稿

Case-03 未成年が飲酒・喫煙をほのめかす写真をアップ

Case-04 SNS への無責任な書き込み

Case-05 Twitter で不適切な物品の販売

Case-06 個人情報の入った USB メモリの紛失

Case-07 学生団体（クラブ・サークル）ホームページに行き過ぎた動画をアップ

Case-08 勧誘に対し、疑いもなく個人情報を教える

Case-09 不正確な情報や、悪質なウソのツイート

Case-10 テストにおける不正行為を告白

Case-11 面白半分でのハッキング行為



図 1: 「まんがで読む 情報倫理の違反事例集」トップページ

2. 利用状況

公開方法は Web 公開とし、本センターが管理するポータルサイト「SPIRIT」に毎週 1 話ずつ公開し、Twitter にもリンクを掲載して投稿するという方法をとった。

公開開始の 2014 年 5 月 9 日から 8 月 25 日迄の期間でのアクセス数集計は、全話合計で 44,940 回のアクセス（1 話あたり 2,153~4,803 回）があった。

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週以降	合計
	5/9 ~5/19	5/20 ~5/26	5/27 ~6/2	6/3 ~6/9	6/10 ~6/16	6/17 ~6/23	6/24 ~6/30	7/1 ~7/7	7/8 ~7/14	7/15 ~7/21	7/22 ~7/28	7/29 ~8/25	
Intro	1,651	415	887	218	198	197	184	165	151	191	108	129	4,494
Case 01	1,620	542	479	343	264	249	217	191	197	203	142	132	4,579
Case 02	-	1,831	782	401	301	282	220	200	235	202	137	131	4,722
Case 03	-	-	2,250	642	369	323	257	227	227	203	162	143	4,803
Case 04	-	-	-	1,597	637	379	266	249	258	213	157	137	3,893
Case 05	-	-	-	-	1,785	530	320	275	262	247	177	152	3,748
Case 06	-	-	-	-	-	1,659	546	372	293	255	168	161	3,454
Case 07	-	-	-	-	-	-	1,898	641	439	355	217	175	3,725
Case 08	-	-	-	-	-	-	-	1,772	631	379	223	190	3,195
Case 09	-	-	-	-	-	-	-	-	2,012	567	298	216	3,093
Case 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,093	583	405	3,081
Case 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,537	616	2,153
合計	3,271	2,788	4,398	3,201	3,554	3,619	3,908	4,092	4,705	4,908	3,909	2,587	44,940

表 2：アクセス数集計

3. 2014 年度のまとめ

スマートフォンでも閲覧できる形で WEB 公開し、Twitter にも掲載したことで情報を効果的に拡散することができ、アクセス数の増加につなげることができた。この啓発活動の効果を測ることは難しいが、アクセス数から一定の効果が得られていることを期待する。

今後も、学生のコンプライアンス意識を向上させることができるよう、様々な方法で取り組んでいきたい。